



議会だより な お し ま

2024
No.208
令和6年7月10日

発行●香川県直島町議会
編集●広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)



夏まつりはやめる(町長報告)..... 2P
 海外研修はポーンマス市(教育長報告)..... 3P
 どうする経年劣化の教育施設 他(一般質問).... 4・5P
 繁忙期の交通安全対策は(あれ、どんなつとん!)..... 7P
 小鳥の声で目覚め 海辺を散歩
 (U・Iターン者に聞く)..... 8P



小林町長

火まつりは盛大に
町制70周年に
花をそえたい

夏まつりはやめる

日から開催しまし
たあと、議案3件
おり可決しました。
が登壇し、町政を

(主なもの)

- 3月26日 瀬戸芸実行委員会総会がレクザムホールで開催され出席しました。
- 4月9日 宇野港土地開発京谷常務他が挨拶のため来庁されました。
- 4月17日 駐在所開所式が行なわれ出席しました。
- 4月24日 つり公園でタケノコメバルの稚魚約8000匹を放流しました。
- 5月14日 直島の火まつり実行委員会を開催し出席しました。
- 5月18・19日 掃海艇「なおしま」が宮浦港に寄港し、歓迎セレモニー・一般公開などのイベントが行なわれました。
- 5月27日 直島製錬所鷺ノ松パレス新築工事竣工式が執り行なわれ出席しました。
- 5月28日 瀬戸芸直島町実行委員会を開催しました。
- 5月31日 直島新美術館(仮称)プレイベントが開催され出席しました。
- 5月31日 四者懇談会をホテルマリンパレスさぬきで開催しました。

主な質疑

キックボード対策を

Q (西岡) 昨年7月道路交通法の改正で、キックボードの規制が緩くなり、観光客の交通マナーが非常に悪い。

A (まち観課長) 県警や駐在所と連携協議している。デジタルサイネージでも交通マナーの徹底を配信している。

キックボードについては、レンタルサイクル業者への内容確認を行ない対処したい。

夏まつりはやめたのか

Q (宮原) 今まで行なっていた夏まつりはやめたのか。

A (町長) 人集めや準備がたいへんとの声があり、夏まつり実行委員会にはかつてやめることに決めた。

中学校音楽部の演奏やソーラン踊りなどの夏まつりの要素も取り入れた「火まつり」にしたい。



にぎわっていた夏まつり

四者懇談会は

Q (浜口) 町、製錬所、漁協、ベネッセの四者懇談会は以前にもやっていた記憶がある。

四者が集まって意見交換することは非常に有意

義なもの。ぜひ継続してもらいたいと思う。

A (町長) 私は冒頭の挨拶で、四者がスクラムを組んで頑張らないと直島町は良くなるかと話した。

クROMEバル放流は

Q (宮原) つり公園に毎年タケノコメバルを放流している。クROMEバルの放流は。

A (町長) 稚魚は県水産試験場から購入している。時期によって魚種は異なるが、試験場にも聞いてみる。

つり公園の展望は

Q (西岡) つり公園の今後の展望は。

A (町長) コンサルに委託し計画してもらおうことにしているが、非常にお金がかかる。

そこまで資金投入できるかはなほだ疑問だ。なんとか再度復活したい願望はある。議会にも相談する。

住宅に空きがあるのでは

Q (山上) 製錬所の鷺ノ松パレスが竣工した。

家族用の住宅には何戸か空きがあると聞いている。住宅は三菱の所有管理のものだが、一度、社宅から出た者は、社員であっても再度の入居はできないと聞いた。

空きがあるなら改善するよう要望しては。

A (町長) これについては、2回ほど製錬所に申し入れしている。

製錬所には取り扱いの内規があるが、この見直しを要望している。



製錬所の社宅棟



津山教育長

端末1人1台
7年度更新

海外研修は ボーンマス市

6月定例会を6
た。
報告を5件受け
を審議し、原案ど
一般質問には2人
問いました。

主な質疑

中学3年生の進路は

Q (宮原) 中学3年生の卒業生数は、また、その進路の県別の人数は。

A (教育長) 卒業生は25人。香川県16人、岡山県9人だ。

学校支援ボランティア

Q (中根) 学校支援ボランティアの実施内容は。

A (教育長) 幼児学園で「お茶」の指導、小学校は「女言葉」「絵手紙」「書道」などの指導をもらった。

不登校の子ども

Q (西岡) 不登校の子どものこころと保護者の支援の講演内容は。

A (教育長) 全国的には10年間で増えている。不登校の子どもを学校に無理やりつけてくるのは

よくないし、放っておくのもよくない。適切に対応することが重要であると話された。

海外派遣事業

Q (山上) 派遣の日程と派遣場所は。

A (教育長) 8月3日から8月12日まで、昨年と同じイギリスのボーンマス市に滞在する。また、1日はロンドン市を社会見学する。

(主なもの)

- 3月6日 地域学校協働本部委員会に出席しました。今年度の学校支援ボランティア活動の実施報告がありました。
- 3月12日 中学校卒業式に出席しました。
- 3月13日 小学校卒業式に出席しました。
- 3月14日 幼児学園修了式に出席しました。
- 3月26日 県GIGAスクール構想推進協議会に参加しました。
- 4月16日 香川大学教職大学院の教授らが来室されました。
- 4月22日 中学生・高校生海外派遣事業希望者の書類審査及び面接を実施し、高校生2人、中学生2人を決定しました。
- 5月2日 市町教育委員会及び町教育長会の合同研修会に出席し、奈良女子大の伊藤教授の「不登校の子どものこころと保護者の支援」の講演を拝聴しました。

香大教職大学院

Q (小野) 香川大学教職大学院教授らの来室目的は。

A (宮原) 県職の教員が1年間修士課程を学べば資格が取れるので、町の先生方に対し、その資格取得についての説明などだ。

GIGAスクール構想

Q (宮原) 県GIGAスクール構想推進の内容は。

A (教育長) 県が統一して、生徒・児童



GIGA スクール端末 (タブレット)

童の端末 (タブレット) を更新することを調整している。(令和7年度に更新。)



派遣場所はボーンマス市

どうする 経年劣化の教育施設

〔教育長 計画的に補修を実施〕

小学校・中学校体育館・幼児学園等の各教育施設は、昭和45年～昭和58年の間に建設され、各施設とも経年劣化が進んでいると思われる。

①小学校校舎は耐震補強工事から16年が経ち、補強鉄骨を固定しているボルトナットが腐食している箇所が見受けられる。南海トラフ地震が発生した場合に耐震機能が発揮できるのか。部品を交換するか、塗装だけで対応するのか検証が必要だ。

②幼児学園も建設後42年が経過し、数力所で雨漏りがあり、バケツ等で対応している。その周囲が腐食したり、経年劣化



津山 教育長 西岡 議員



上、小学校 耐震機能は
下、幼児学園 雨漏り対策は

ため、だんだんと腐食していくと、コンクリートがひび割れし、余計にひどくなっていくと思う。子どもたちの安全のため、早期の対応を要望する。

A を加速させる要因と考えられる。早期の対応が必要ではないか。

③中学校体育館も建設後46年が経ち、天井の劣化が進行している。何らかの対策を考えては。

このように各施設の修繕が必要と思われる。予算等もあると思うが、危険性・重要性等を考慮し、各年度で修繕が必要だ。

(教育長) ①について、耐震補強の

鉄骨は合計13カ所に設置している。

雨がよくあたる箇所のボルトは、他の部分以上に塗装がはがれさびが目立つ状態になっているが、耐震機能については、現時点では全く心配ないと考えている。

しかし、遅くなるほど腐食が進んで強度が低下する上、今後の耐久期間が減少し続けるため、再塗装をする必要があると

考えている。

校舎の長寿命化を図るために、町全体の予算の優先順位を考慮しつつ、できるだけ早期に塗装を実施したい。

②について、雨漏りがあはれることは教育委員会で把握しており、修繕の必要性を感じている。

また、雨漏りは顕著に

優先順位を決め、計画的に補修を実施したい。

③について、塗装がめくりあがっているように見える箇所が一部あるが、全体的に顕著な傷みは見られない。

現時点では補修の必要はないが、今後も継続的に劣化状況の把握に努めたい。

(西岡) 幼児学園だが、経年劣化が進行すると、鉄骨と鉄筋を使っている

ダム沿線道路の拡幅を 〔町長 優先順位高いものから〕



宮原 議員 小林 町長

直島ダム堤防から、大広木池下の「桜の迷宮」までの沿線道路は、相互通行時の待避場所がいくつかあるが、対向が難しい狭い部分が多くみられる。対向時に適切に停車しないことから、動いた車が木々で傷ついたり、車同士の接触等、保険の過失責任で不利になったりすることがある。

また、最近観光客の自転車等の運転マナーの悪さで、事故を起こさないかと不安を感じることも多くなっている。

町民から「狭い道路は拡幅工事をしてほしい」との要望を多く聞く。拡幅工事の検討をしてはと考える。



ダム沿線道路拡幅を

Q 工事が無理なら、ふれあい通信で、対向時の注意喚起の放送をする。また、観光客の運転マナーについては、貸出者にマナー遵守

Q 工事を一度にすると予算が多くなるので、毎年部分的にやってはどうか。

A (町長) 優先順位でやるので、それは難しい。

A (町長) 現在、狭い道路については優先順位をつけて、急ぐものから順次改良や改修を行なっている。ダム沿線道路は今後の計画となる。

当面は、通行に支障のある枝木の伐採等を行なう。

A (教育長) 長寿命化計画について、すでに「町公共施設個別施設計画」を策定している。それによると、鉄筋コンクリートの耐用年数は

昭和時代に供用開始した建築物の耐用年数を心配する。具体的には、幼小中の校舎だ。それらは、石井設計の建築物。もし、再建築ならそれを残して別の場所に新築するか、撤去してそこに新築するか。

国では、改修等をして長寿命化計画を推進しているようだが、幼小中学校の建て替えか長寿命化の計画は検討されているか。

A (町長) 観光客は、ふれあい通信を開かない。今後、どのような方法がいいか検討する。

A (町長) 観光客は、の説明を、再度依頼してはどうか。

**建て替えか
長寿命化の検討は**

Q 幼小中の洋式の普及率は、また、洋式への検討は。

60年程度だが、予防保全型の管理を行なうことで耐用年数を延ばし、長寿命化を図ることで、80年以上使用することを目標としている。今後短く見積もっても26年は使用でき、現時点では心配ない。

◎直島小学校を例にすると
直島小学校 昭和45年(1970年) 1月着工
昭和45年(1970年) 10月竣工

鉄筋コンクリート	耐用年数
税法上の耐用年数	47
直島小学校2024年10月現在の築年数	54
長寿命化せずに改築(建て替え)する場合	60
長寿命化する場合(2050年に築80年)	80

長寿命化のイメージ(目標耐用年数80年)

小学校の場合、正しくは、すでに築50年たっているため、上記の長寿命化のイメージの長寿命化改修と大規模修繕は、経年50年以上に右にずれます。



洋式トイレに変更したい

A 普及率は、幼児学校35%、中学校60%。小学校の普及率を中学校程度まで上げることを年次計画で実施したい。

委員会レポート

経済・民生

総務・文教

山上委員長

健康保険証が マイナンバーカードに

〔診療所〕

治療状況(5年度年間実績)

一般入院 235人
(前年比 18人増)

シヨートステイ 147人
(前年比 103人減)

外来患者数 1万2460人
(前年比 267人増)

時間外救急患者数 387人
(前年比 54人減)

中根委員長

新規特産品 販売開始

〔総務課〕

新規採用職員

医師 1人交代
職員 3人採用
会計年度 2人採用

〔教育委員会〕

中学生・高校生海外研修事業実施

日時 8月3日～12日
参加者 中学生 2人
高校生 2人



今年の12月以降は、現行の健康保険証の発行はなくなり、病院・薬局を利用する際は、マイナ保険証が必要となる。

Q カードを持っていない人は、

A マイナンバーカードを持っている人は、

マイナンバーカードの保険証利用について

Q 比較的に緩和されている。

A (教育長) 香川県も他県と同じだが、(山上) 香大の教育学部の卒業生

Q 7月22日～8月2日 土日を除く10日間

A (山上) 現在、教員の確保が大変といわれているが、香川県の現状はどのようになっているか。

夏休みプール開放

直島げんき

居宅介護支援事業所として5月1日から開始となった。

Q 資格確認証を保険者から発行してもらう必要がある。

A (住民福祉課) 総合福祉センター利用状況(5年度実績)

プール 2131人
トレーニング 801人

Q 4人となっているが、内容のか。

A (教育長) 香大生の半数程度の学生が、岡山や他県からの学生であるので、地元に戻って就職していると思われる。

ふるさと納税

Q (中根) 令和5年度の移住者が13

A 5388万円
887件

Q 品は「波無どら」と「波音まんじゅう」の2種類だけか。

A (課長) 今は2種類だけだが、今年度は洋菓子も作るかどうか

〔建設経済課〕

稚魚放流

4月24日 直島つり公園において、タケノコメバル800匹を放流

Q 残りは何区画。

A 1期工事の残と合わせて残り4区画となっている。

〔課長〕 社会的要因が安定しているものの、自然減が多く人口減少にはなっているが、労働人口は増えている。

鳥獣捕獲数(5年度年間実績)

カワウ 39羽

〔環境水道課〕

狂犬病予防注射

4月12日 町内各所で実施

注射頭数 33頭

Q 町内では、もっと多くの犬が飼われていると思うが。

A 今回注射に来ている犬は、飼いが主が動物病院で実施している。

Q 品は「波無どら」と「波音まんじゅう」の2種類だけか。

A (課長) 今は2種類だけだが、今年度は洋菓子も作るかどうか

〔建設経済課〕

稚魚放流

4月24日 直島つり公園において、タケノコメバル800匹を放流

Q 残りは何区画。

A 1期工事の残と合わせて残り4区画となっている。

〔課長〕 社会的要因が安定しているものの、自然減が多く人口減少にはなっているが、労働人口は増えている。



販売開始された特産品

令和6年度

補正予算

一般会計専決第1号

一般会計第1号

令和6年度に実施される定額減税に係る調整給付金の交付のためのシステム改修経費、総務課会計年度任用職員採用にかかる経費に570万円を追加し、予算総額は34億2287万円となりました。

令和7年施行予定の戸籍のふりがな登録準備のためのシステム改修経費、児童手当の改正に伴うシステム改修経費などに697万円を追加し、予算総額は、34億2984万円となりました。

歳入

● 国庫支出金 163万円追加

● 繰越金 407万円追加

歳出

● 一般管理費 246万円追加

● 定額減税調整給付事業費 324万円追加

Q

は、6月から開始となるが、減税しきれない場合の給付スケジュールは。

A

(総務課長) 9月補正で予算措置し、その後支給する予定だ。

歳入

● 国庫支出金 511万円追加

● 繰越金 186万円追加

歳出の主なもの

● 戸籍住民基本台帳費 118万円追加

● 児童措置費 393万円追加

● 水産業振興費 186万円追加

あれ、どんなっとん!



このコーナーは、議員が以前に一般質問や委員会などで質問した問題がその後どうなっているかを追跡してお知らせします。

瀬戸芸等、繁忙期の交通安全対策は

観光客の自転車・キックボード・バイク等のマナーの悪さや、交差点ルール重視の徹底等を、指導していただくよう警察と協議をしては。

(令和4年6月定例会一般質問 西岡議員)

答弁

警察によるパトロール等の協議を重ね、交通ルール遵守及びマナーアップの向上に繋げていける取り組みを継続していく。(小林町長)

経過

2年前に質問した、観光客による自転車・キックボード・バイク等のマナーや交通ルールの向上等と、警察のパトロールの回数を増やしてほしいと要望し、現在は警察のパトロールも増えたが、去年7月の交通法改正で、16歳以上・免許不用・ノーヘルでキックボードが運転できることになった。

現在、島内で交通ルールもわからない観光客が、マナーや交通ルール

のない走行は、ひどいとの町民の声もある。今後新たな対応を考えているのか。

(令和6年6月定例会町長報告 西岡議員)

答弁

現在、香川県警・高松北署・地元駐在所と連携協議を続けている。

また、3月から配信中のデジタルサイネージで、交通マナー、ルール徹底の情報も配信している。

キックボード等の状況は、近日中にレンタサイクル事業者に再度確認し内容徹底をお願いしようと考えている。

今後、デジタルサイネージの中に、警察関係と連携し、日本語・英語・中国語等、多言語での配信を考えている。(まちづくり観光課 前田課長)

デジタルサイネージとは
屋内外・店頭・公共交通機関など、あらゆる場所で、ディスプレイなどの電子的表示機器を使って情報発信するシステムの総称(電子看板)

小鳥の声で目覚め 海辺を散歩 (優人さん)

東京でのストレスがなくなります (裕美さん)



小関優人さん、裕美さん

今回登場いただくのは、U・Iターン者の小関優人さん・裕美さんご夫婦です。

Q 初めまして、こんにちは。本日はよろしくお願ひします。まず、どちらからいつ頃来られましたか。

A 優 昨年5月に、横浜市から移住しました。

裕 私は東京出身、旦那は札幌出身で、東日本から出てくることが多くなかったのでも楽しみにしていました。

Q 現在のお仕事は何をされていますか。以前の

A 優 以前から変わらず障害福祉系の企業の求人メディアやsaas

サービスの営業をしています。

優 デザインとシステム開発の会社をやっています。お互いほぼフルリモートで働くことができます。在宅勤務しています。

Q 直島への移住を決めたきっかけは。

A 優 旅行で来た際に、

アートと自然に惹かれたのはもちろんですが、出逢った町民の皆さんのお人柄や、島そのものあたたくも活気ある雰囲気を感じ移住を決めました。

Q 住まれてみて不便なところ、逆に思っていた

A 裕 逆はあります。やはりよかったです。

A 裕 不便さは感じておりません。コンビニも生協もあり、買い物にも困りませんし、宇野も高松も意外とすぐに出られるので便利です。宅配もすぐ届き東京の友人には、島だけ、圧倒的に都会

Q 直島での友人、知人などできましたか。



モルックで遊んでいます

A 優 ありがたいことにたくさん友人、知人ができました。ごはんに行ったり、遊びに行ったりしています。皆さん優しく、面白い方が多く楽しい日々を過ごせております。

Q お休みの日はどう過ごされていますか。

A 裕 美術館に行ったり、浜辺でのんびりしています。岡山に出てキャンプをすることも多いです。

優 家で読書をしたり、直島の夕焼けが好きなのでお散歩をしています。

Q 島での生活の感想は。

A 優 朝、小鳥の声で目覚め、海辺を散歩し、とても健康的な生活を送れています。

裕 仕事の関係で、東京にいる期間もあるのですが、直島にいと東京で積もるストレスがなくなりました。

Q 将来の直島がこうなってほしいとかありますか。

A 優 裕 いま



リモートで仕事



の直島よさを大切にしつつ、住民も観光客も気持ちよく過ごせる環境がより充実すると、よいなと思っています。

Q 最後に、直島の皆さんにメッセージをどうぞ。

A 裕 人見知りなので、仲良くしていただくと嬉しいですね。

優 いつもありがとうございます。ぜひもっと多くの方々と仲良くしたいので、お声掛けいただくと嬉しいです。よろしくお願ひします。

小関さん、これからも直島ライフをエンジョイしてください。ますますたくさん友人ができることを願っています。ありがとうございます。

編集後記

少し前まで正月気分だったが、気がつくともう7月。テレビの天気予報を見ると、今年は例年より梅雨入りが遅いとのことだった。雨が降るとジメジメ感が増して、テンションも下がるので、梅雨期間が短くなるのを期待したい。

今年は、正月早々から能登半島で大きな地震があり、多くの方が犠牲になった。亡くなられた方には、ご冥福をお祈りし、負傷された方には、一日も早い回復を願うばかりだ。また、いまだに避難生活を余儀なくされている方には、少しでも早く元の生活に戻れるよう、お祈りする。できることならボランティアをしたと思う人が全国各地にいるのではと思うが……

(小野 記)

広報編集特別委員会

- 委員長 井下 良雄
- 副委員長 小野 孝一
- 委員 山下 玲子
- 山上 英一
- 西岡裕喜広
- 中根 清孝
- 宮原 三郎
- 濱口 敏夫